

スタンプラリー開催中

楽しく分かりやすく学んでみよう

講談で学ぶ成年後見制度を開催します

成年後見制度ってなに?

成年後見制度には、将来判断能力が衰えたときに支援してもらう人をあらかじめ自分自身で決めておく「任意後見制度」と、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でなくなつたとき、その人の預貯金などの財産管理や、日常生活でのさまざまな契約などを法律的に支援する「法定後見制度」があり、2つ合わせたものを「成年後見制度」と言います。

具体的には、支援する人が利用者本人に代わって契約などを結ぶ、また、本人が結んでしまった本人に不利益な契約行為を取り消すなどして、本人の権利を守ります。

講談で学ぼう成年後見制度

成年後見制度はどのような仕組みで、どのようなときに利用できるか、講談師の「口演」と社会福祉士の「講演」で分かりやすく楽しく紹介します。入場は無料です。皆さん、ぜひご参加ください。

講談で学ぶ成年後見制度

日時 11月28日(土) 午後1時30分開演
(開場は午後1時)

場所 文化会館

内容 講談師神田織音さんによる「講談」3話
社会福祉士飯塚哲男さんによる講演
題「成年後見制度の活用について」

その他 申し込みは不要。当日直接会場へお越しください。入場は無料です。駐車場に限りがありますので、来場の際は乗り合わせでお越しください。送迎を希望される人は、役場福祉課または地域包括支援センターまでご相談ください。



講談師の神田織音さん



町内外の人々が交流する場として期待が寄せられています

大井川流域まちかど博物館16館を認定しました

地域の魅力を発信していきます

旧町名	最寄駅	博物館名	館長・管理者	特 色	
金 谷	金 谷	珈琲と雑貨の店 こもれび	松本 修	東海道石畳や諏訪原城などのお話を聞けます。	
金 谷	金 谷	アルム珈琲店	鈴川 治	東海道石畠や諏訪原城などのお話を聞けます。	
金 谷	新 金 谷	ブ ラ ザ・ロ コ	大井川鐵道	昭和の鉄道の歴史と大井川流域の産物。	
金 谷	五 和	志 戸 呂 烧 彦 次 窯	丸山 成己	志戸呂焼の工房と作品。体験もできます。	
川 根	家 山	朝 日 園 本 店	朝比奈久代	川根茶の味や香り、お茶の茶の文化、お楽しみも。	
川 根	家 山	朝 日 園 茶 房 遊	朝比奈美紀	川根茶の味や香り、お茶の茶の文化、お楽しみも。	
川 根	家 山	徳 兵 衛 酒 店	鈴木 捷博	建物そのものが文化財。明治の暮らしを彷彿。	
川 根	家 山	マルイエ醤油川根本家	村松 享	巨大な樽が明治時代からの醤油づくりを継続。	
川 根	家 山	家山・笹間渡	山 関 園 製 茶	山下 譲	川根茶の味や香り、お茶の茶の文化、お楽しみも。
川 根	家 山	山 関 渡 手 漬 き 和 紙 工 房	羽根田英世	手漉き和紙に描いた水彩画など展示・体験。	
中川根	田 野 口	中川根ふる里通信発信局	小澤 節子	館長の語りそのものが博物館。	
中川根	田 野 口	大井川鐵道 田野口駅	大井川鐵道	昔ながらの懐かしい木造駅舎。	
中川根	駿河徳山	山 香 荘 茶 園	石山貴美夫	茶畠と製茶工場、川根茶の味や香りも。	
本川根	千 頭	田 畑 茶 店	田畠 喬久	川根茶の味や香り、お茶の文化、お楽しみも。	
本川根	寸又峡温泉バス停	古 民 家 お 茶 カ フ エ	望月 元彦	静かな和風のたたずまいでお茶を味わう。	
本川根	接岨峡温泉	せ っ そ 峡 温 泉 駅	長嶋 勝	山間の小さな駅舎。気さくな駅長がお出迎え。	

ビンゴ形式のスタンプラリーを開催中

奥大井・南アルプスマウンテンパーク推進協から
●対象施設・ツア
■南アルプス井川観光会館えほんの郷
■フォーレなかかねわ茶茗館
■奥大井 音戲の郷
■民宿ふるさと(静岡市田代地区)
■島田市山村都市交流センターさま
■川根温泉道の駅売店
■南アルプス赤石温泉白樺荘
■体験エコツアーエ
※本町エコツーリズムネットワークや島田市山村都市交流センターさまが主催するエコツアーや体験プログラム(紅葉満喫ツアー、味噌作り体験、そば打ち体験など)詳細は事務局まで。



この大井川流域まちかど博物館の認定式は9月18日、島田市川根町チャリム21で開催し、地域の店舗、工房、駅など16施設がまちかど博物館として認定されました。式では16人の館長を代表し村松享さんが「川根地域を広く発信するため頑張りたい」と決意を述べました。その後、16館の館長には、地元産ヒノキ・スギで製作した統一看板が手渡されました。
※川根本町や島田市、各市町の商工観光関係団体などで構成する観光振興のための組織

国の「地方の元気再生事業」の認定を昨年7月に受け、大井川観光連絡会※が中心となつて立ち上げた「まちかど博物館設置調査委員会」は、博物館設置に向け準備を進めてきました。

まちかど博物館とは、地域の食や手仕事、生活習慣、文化、コレクションなどを、民家や商店などで、館長の「語り(説明)」とともに見学することができ、交流の場として誘客につなげ、地域の活性化を狙う事業です。

この大井川流域まちかど博物館の認定式は9月18日、島田市川根町チャリム21で開催し、地域の店舗、工房、駅など16施設がまちかど博物館として認定されました。式では16人の館長を代表し村松享さんが「川根地域を広く発信するため頑張りたい」と決意を述べました。その後、16館の館長には、地元産ヒノキ・スギで製作した統一看板が手渡されました。
※川根本町や島田市、各市町の商工観光関係団体などで構成する観光振興のための組織